

# 性能評価型(事例10) 散気管の目詰まり除去による水質改善事例

## 【槽内状況】



維持管理要領書より 5人槽 循環水量1.4~2.8ℓ/分(2Q~4Q) 放流バルブ40%は調整の必要ない

事例番号	10		浄化槽メーカー	フジクリーン工業(株)		
処理方式	性能評価型 窒素除去型		浄化槽型式	CE		
法定検査日	平成 24 年 10 月 25 日		人槽	5人槽	使用人員	5人
測定項目	1次処理 1室	1次処理 2室	2次処理	処理水槽／沈殿槽	放流水	
スカム厚(cm)	19	0	—	3	透視度	18 度
堆積汚泥厚(cm)	30	22	—	8	DO	3.6 mg/ℓ
透視度(度)	6	9	14		pH	7.3

法定検査からの状況連絡・指示内容	槽内状況	1次処理1室のスカム厚、堆積汚泥厚が多い。 循環バルブ開度32%(基本設定30~35%)で循環水量が4.6ℓ/分と多くなっている。 前回保守点検時、循環水量の設定量2.0ℓ/分 1次処理機能低下 1次処理流出水透視度 9度 日平均汚水量 1.07m <sup>3</sup> /日 採水時間10:10				
	対策	散気管が目詰まりをしている為、点検及び洗浄をする。 循環水量は基本(2Q~4Q)の少ない2Qに合わせ、1.5ℓ/分に調整する。				
保守点検からの措置返信内容	10月31日	指示通り実施しました。 散気管内の圧力水洗浄を実施する。 循環バルブ開度29%(1.5ℓ/分)に調整する。			透視度	18 度
					DO	3.5 mg/ℓ
					pH	7.3
	11月14日	透視度回復する。 循環水量に変動なし。 1次処理流出水透視度 16度			透視度	32 度
				DO	4.6 mg/ℓ	
				pH	7.1	

## 【ポイント】



バルブ設定は基本設定  
循環バルブ(灰)32% 放流バルブ(白)40%

散気管の目詰まりにより  
循環水量が4.6ℓ/分に増加している。

その結果、処理水槽に汚泥が押し出され  
浮上している。  
スカム厚 3cm